

ワンポイント会計基準

vol.298 「現在開発中の会計基準に関する今後の計画」について

1. はじめに

3月決算の会社におかれましては、決算がようやくひと段落した頃かと思えます。企業会計基準委員会より、2024年6月6日現在において開発中（開発予定を含む。）の会計基準に関する検討状況及び今後の計画が示されました。今回は、このうち開発中の会計基準の概要をご紹介します。ご一読いただき、今後の参考にいただければ幸いです。

2. 開発中の会計基準

(1)リースに関する会計基準

（主な内容）

借手のすべてのリースについて資産及び負債を認識するリースに関する会計基準の開発に向けて、国際的な会計基準を踏まえた検討を行っています。また、合わせて、リースの貸手の収益認識に関する会計処理（リース業における割賦販売取引の会計処理を含む。）についても検討を行っています。

（検討状況及び今後の計画）

2023年5月2日に、企業会計基準公開草案第73号「リースに関する会計基準（案）」等を公表しています。2023年8月4日にコメントを締め切っており、現在、公開草案に寄せられたコメントへの対応を検討しています。

(2)金融商品に関する会計基準

（主な内容）

予想信用損失モデルに基づく金融資産の減損についての会計基準の開発に向けて、検討を行っています。なお、金融資産及び金融負債の分類及び測定については、今後、会計基準の開発に着手するか否かについて判断する予定です。

(検討状況及び今後の計画)

2022 年 4 月より、予想信用損失モデルに基づく金融資産の減損について、IFRS 第 9 号「金融商品」(以下「IFRS 第 9 号」という。)のモデル (ECL モデル) を開発の基礎として検討を進めています。現在、金融機関において適用される IFRS 第 9 号を出発点として適切な引当水準を確保したうえで実務負担に配慮した会計基準の開発に関する検討を継続しつつ、同時並行的に一般事業会社における取扱いに関する検討を行っています。

(3)四半期報告書制度の見直しへの対応

(主な内容)

四半期報告書制度の見直しへの対応について、以下の検討を行うことを予定しています。

- ア 企業会計基準第 33 号「中間財務諸表に関する会計基準」(以下「中間会計基準」という。)及び企業会計基準第 12 号「四半期財務諸表に関する会計基準」を統合した会計基準等の開発の要否
- イ 中間会計基準に関連する他の会計基準等の修正への対応

(検討状況及び今後の計画)

今後、検討することを予定しています。

(4)上場企業等が保有するベンチャーキャピタル (VC) ファンドの出資持分に係る会計上の取扱い

(主な内容)

上場企業等が保有する組合等への出資持分に関して、VC ファンドに相当する組合等の構成資産である市場価格のない株式を中心とする限定した範囲の会計上の取扱いについて検討を行っています。

(検討状況及び今後の計画)

2023 年 12 月より検討を開始しています。

以上